

科目名	漢文基礎学Ⅱ					単位	2.0
担当教員	渡邊 幸彦						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	1	授業番号	2106

●授業のテーマ

「漢文訓読」を通して中国の古典を学ぶ

●到達目標

漢文訓読の方法を理解し、自力で訓点等が附せるようになる。

●学習内容(授業概要)

中国の古典文学は古来様々な形で日本（と日本文学）に影響を与えてきましたが、本来外国のことばで書かれているものを日本人は意外なまでに抵抗なく許容してきた印象があります。それには漢文訓読が大きく関わっていると考えてよいでしょう。漢文訓読とは、中国の古典（文語体の文章、いわゆる漢文）を、文章の体裁を変えないまま、記号や送り仮名を付すことで（文法の異なる）日本語の読み方に合わせてしまうやり方で、日本で特別に発達した特殊な翻訳法です。日本人が他の外国人に比して、中国古典の読解を比較的容易に行えたのも、漢文訓読法があったからだといえることができます。

本科目では、漢文訓読の方法を中国古典の文法にしたがって順に学びつつ、中国古典の代表的な作品を概観していきます。毎回小テストを実施し、繰り返しトレーニングをしていきます。最初はとっつきにくく感じられるかもしれませんが、いったん覚えてしまえば、驚くほど簡単に漢文が読めることに気づくはずですよ。

●学習内容(授業計画)

《後期（Ⅱ）》

1. ガイダンス（概要紹介）
2. 漢文訓読について
3. 訓点総復習
4. 諸子百家の文章（孔子）
5. 諸子百家の文章（韓非子）
6. 諸子百家の文章（孟子）
7. 歴史の文章（史記）
8. 歴史の文章（十八史略）
9. 小説（三国志）
10. 小説（志怪）
11. 漢詩（基礎）
12. 漢詩（杜甫など）
13. 応用
14. 総復習
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

事前に中国に関する基礎知識を調べておくこと。また事後は、講義時に配布する資料を読んで内容をしっかり把握しておくこと。

●成績評価方法・基準

平常点5割、学期末レポート5割

●テキスト（必携）

授業時に配布

●参考文献／その他

講義時に指示する。

●履修上の注意

毎回授業時に課題の提出を求める。